

社会環境研究領域 履修例

学生の専攻分野・ 出身背景等(例)	総合科学部の出身者で地域研究や 環境科学を専攻した学生	文系学部の出身者で社会学経済学 を専攻した学生	一般企業で企業の社会貢献や環境 対策に関わる業務に従事している 社会人
研究テーマ(例)	地域社会が抱える広義の環境問題 に関する理解とその解決策の研究	現代社会が直面するリスクの多面的 ・総合的な把握とそれへの対処の しかたに関する研究	総合的な地域環境認識及び政策課 題の発見・解決方法に関する研究
履修科目(例)	<b>必修科目 (14単位)</b> 総合科学演習 (2) コア科目A・B(4) 特別研究(社会環境研究) (8) <b>選択必修科目 (12単位)</b> 【主領域科目】 (8) 地域情報論 持続可能地域論 福祉社会論 持続可能な観光発展論 【他領域科目】 (4) 保全生態学 科学・技術・社会論 <b>自由選択科目 (4単位)</b> 生物多様性科学(環境科学入門) 社会動態論	<b>必修科目 (14単位)</b> 総合科学演習 (2) コア科目A・B(4) 特別研究(社会環境研究) (8) <b>選択必修科目 (12単位)</b> 【主領域科目】 (8) 社会階層論 産業システム論 世界経済体制論 コミュニティー論 【他領域科目】 (4) 情報システム論 文明共存論 <b>自由選択科目 (4単位)</b> 社会文化史 科学・技術・社会論	<b>必修科目 (14単位)</b> 総合科学演習 (2) コア科目A・B(4) 特別研究(社会環境研究) (8) <b>選択必修科目 (12単位)</b> 【主領域科目】 (8) 社会動態論 福祉社会論 農村環境社会論 持続可能地域論 【他領域科目】 (4) 気候変動災害論A・B 応用倫理学 <b>自由選択科目 (4単位)</b> 科学・技術・社会論 情報システム論
教育目標(例)	グローバルな観点から環境問題を 理解するとともに、環境問題を地域 の具体的な実践課題ととらえ、 フィールドでの問題の的確な把握と その解決に向けた行動を起こせる 人材を養成する。	複雑化する現代社会が抱える様々 なリスクを、社会学・経済学の理論 をふまえて総合的に把握し、実証的 に調査・研究することで、新たな社 会のあり方を構想しうる人材を養成 する。	すでに活躍中の社会人に対し、多 角的な視野から現代世界の構造や 変動を理解する能力や、具体的な 地域課題に対して実践的に取り組 む能力の涵養を目指す。
授与学位	修士(学術)	修士(学術)	修士(学術)
養成する修了生像 (例)	●地域政策・環境政策分野の大学・ 研究機関の研究者・教育者を指し、 博士課程後期へ進学する者  ●地域政策や環境政策に関わる公 務員(国・地方) ●環境計画や地域計画に関わるコ ンサルタント ●環境問題や地域問題をテーマと するNPO・NGO職員	●学際的・総合的な地域研究を行う 大学・研究機関の研究者・教育者を 目指し、博士課程後期へ進学する 者  ●福祉政策や労働政策に関わる公 務員(国・地方) ●社会経済問題を多面的に捉える ことのできるマスコミ・出版関係者 ●総合的な政策立案にかかるシン クタンクの研究員	●地域政策・環境政策に関わる公 務員(国・地方)  ●環境問題や貧困問題などに関わ る国際協力関係機関職員 ●環境や福祉等の新たな知見を業 務に活かすことのできる会社員 ●地域活動やボランティア活動等に 積極的に参画し、地域のボランティ アリーダーとして活動できる者